



6月 ほけんだより

令和7年5月31日
国富こすもす保育園

レインコート、長靴、傘をたたく雨の音、水たまり…。大人にとっては憂鬱な雨の日も、子どもには発見や喜びがいっぱいです。ときには子どもの視点で、雨の日を楽しんでみてください。



雨の日の身支度、 ここをチェック

雨の日は視界が悪くて交通事故の危険があります。子どもが動きやすく、扱いやすい雨具を選んでください。

また、いつもより時間に余裕をもつと安心です。

レインコートは…

手が自由に動かせるよう、そでが長すぎないものを。

長靴は…

大きすぎると脱げやすく、重いと動きにくいので、軽くてぴったりのものがよいでしょう。



傘は…

- 先端がとがっていないものを選びましょう。
- 体に合った大きさのものを。就学前で45 cmくらいが適切なので、1~3歳ごろはもう一回り小さいほうが扱いやすいでしょう。
- 持ち手はデザインより持ちやすさを重視しましょう。大きすぎる、細すぎるものを避けましょう。

雨具は目立つ色で、軽く、動きやすいものがおすすめです。

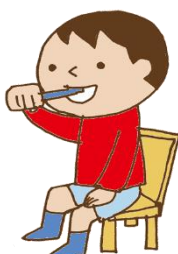
歯磨き中の事故を防ぐ3か条

歯みがき中に、歯ブラシで口の中やのどにけがをする事故を防ぐための3か条を紹介します。歯みがき中の子どもが大人に抱きつき、歯ブラシが刺さるという事故もあります。

子どもが落ち着いた雰囲気の中で歯をみがけるよう気を付けてください。

① 歩かない

歯みがき中の事故で最も多いのが、歩いたり走ったりして転ぶケースです。歯みがきをする場所を決めておきましょう。踏み台から転落する危険があるので、歯みがき中は座らせると安心です。



② 遊ばない

歯みがき中にほかのことをするのは危険です。事故の中には「寝転んで歯みがき」「ソファに立って歯みがき」など、歯みがきのように実際は遊びになっているケースが少なくありません。

③ 手を離さない

歯ブラシから手を放すのは、すでに歯みがき以外のことをしているサインです。「歯みがき中は歯ブラシをしっかり持って」と伝えましょう。



6月4日(水)は歯科検診です。

歯をしっかりと磨いて、9時までに登園をお願いします。

